



静岡県立総合病院

開設者／地方独立行政法人静岡県立病院機構
所在地／〒420-8527 静岡市葵区北安東4-27-1
URL／<http://www.shizuoka-pho.jp/sogo/>

| | |
|--------|--------|
| 病床数 | 712床 |
| 医師数 | 293名 |
| 指導医数 | 113名 |
| 入院患者／日 | 563.4名 |
| 外来患者／日 | 1,701名 |
| 救急医療／日 | 30.2名 |



【理念】

信頼し安心できる質の高い全人的医療を行います。

【特色】

- 1 県下の中核的な医療機関として、循環器系疾患、悪性新生物、救急医療に重点を置いた高度医療を行っています。
- 2 地域の医師会や医療機関との連携を重視した運営を行っており、また連携先の病院や診療所の医師等との研修交流の機会があります。
- 3 教育研修部を設置して臨床研修医を始めとした医療従事者の教育研修の充実を図っているほか、平成27年10月には卒後臨床研修評価機構から認定基準を達成している医療機関として、2度目の認定期間4年間という高い評価を受けました。
- 4 平成25年度に、救急専門医を含む6名の救急科医師を中心に、第3次救急に対応できる救命救急センターを開設し、平成27年3月に高度救命救急センターの指定を受けました。
- 5 ダヴィンチ(手術支援機器)等、最新機器を導入しており、平成29年9月に22室の手術室等を備えた先端医学棟が開所しました。
- 6 24時間利用できる院内保育所の設置など、仕事と家庭が両立できるよう働きやすい職場環境を整備しています。

診療科目

総内、緩和、救急、外、小、産婦、麻、神内、呼内、消内、腎内、循、糖・内、脳外、呼外、心外、精整、形成、乳腺、血内、皮、泌、眼、耳、放、リハ、歯・口腔外、病理、心リハ、腫、遺伝、集中治療

処遇

| | | | | |
|----|--|--|------------|-------------|
| 身分 | 有期雇用職員 | | | |
| 給与 | 1年次基本給／月 | 393,000円 | 2年次基本給／月 | 436,000円 |
| | 1年次賞与／年 | 1,124,000円 | 2年次賞与／年 | 1,188,000円 |
| | 諸手当 | 地域手当(基本給の15%)、初期救急手当、時間外勤務手当、通勤手当、住居手当 | | |
| | 1年次基準支給額／年 | 約7,439,000円 | 2年次基準支給額／年 | 約7,514,000円 |
| 宿舍 | 有 | 当直 | 有 | |
| 保険 | 健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険(包括、個人加入は任意) | | | |

臨床研修医（初期研修医）の研修プログラム

- **プログラム名** 静岡県立総合病院初期臨床研修プログラム
(一般プログラム、小児科プログラム、産婦人科プログラム)
- **募集定員** 24名(一般プログラム 20名、小児科プログラム 2名、産婦人科プログラム 2名)(予定)
(令和4年採用数 23名)
- **協力型病院** 静岡県立こころの医療センター、静岡県立こども病院、静岡てんかん・神経医療センター、
静岡県立静岡がんセンター、伊東市民病院、他
- **協力施設** 桜ヶ丘病院、清水厚生病院、静岡市保健所、佐久間病院、伊豆今井浜病院、下田メディカルセンター、
伊豆赤十字病院、他63の医療機関

プログラムの特色

2年間の研修期間中は教育研修部に所属し、期間内に厚生労働省の案を基本として、内科、救急科、麻酔科、外科、産婦人科、精神科、小児科及び地域医療を必修科目として研修します。(小児科プログラムは小児科、産婦人科プログラムは産婦人科を更なる必修科目として研修します。)

静岡県立総合病院初期臨床研修プログラムの特徴として、プライマリケアと的確な救急蘇生を行うことのできる医師を養成するために、1年目に麻酔科を2ヶ月間、2年の間に救急科3ヶ月の配属を義務付けています。また、海外研修(UCLA)への支援を行っています。

なお、新専門医制度において、『内科、外科、麻酔科、泌尿器科、放射線科、整形外科、救急科、耳鼻咽喉科、総合診療、産婦人科』の10診療領域の基幹施設です。

■ローテーションの例（一般プログラム）

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1年次スケジュール | 総合診療科 | 内科 | 放・緩 | 内科 | 内科 | 内科 | 救急 | 救急 | 外科 | 外科 | 麻酔 | 麻酔 |
| 2年次スケジュール | 精神 | 産婦 | 小児 | 地域 | 救急 | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 | 選択 |

研修医の声

静岡県立総合病院初期臨床研修医の2年目の大角博志と申します。

当院の研修の魅力は研修医が主体的に診療に携わるところです。救急外来では軽症から三次救急でくる重症例まで多彩な症例を受け持ち、いずれもファーストタッチとアセスメントから各診療科へのコンサルテーションまで研修医が行います。瀕死の状態の患者さんを担当するときには、自分にできることを考え迅速に動くことが求められるとともに、それと並行してどのような病態でどのように方針を立てればより予後がよくなるのか、何がその患者さんにとって良い医療なのかということを実際に考えさせられます。上級医の先生とともにディスカッションしながら診療することを通して臨床医として成長していることを実感します。

病棟業務では指導のもと症例を任せられるルーチンの診察と検査計画、処方などは研修医が行い、病棟からのファーストコールも対応します。専門性の高いクリティカルなところは指導医の先生と相談してフィードバックを受けながら検査や治療の方針を立てていきます。そのサイクルを繰り返していきうちに各症例の病態の考察が深まるとともに、将来医師として独り立ちして患者さんを診ていく上で大切な基礎となっていると思います。また、当院は高度救命救急センターとして救命救急科の先生が常勤しており、救急病棟を受け持つ救急ローテートがあります。集中治療室での重症症例を受け持ち、よりきめ細やかな医療について実践していくことも非常に貴重な経験です。研修医は多いもののそれ以上に症例は豊富で指導医の先生も多くいて熱心に指導していただき、種々の手技を含め1人あたり十分な経験を積むことができます。

研修プログラムは選択期間が長く、個々人の進路に合わせて自由に研修する診療科を選ぶことができます。静岡県立こころの医療センターや静岡県立こども病院、静岡てんかん・神経医療センター、UCLAへも希望があれば誰でも研修が可能です。

研修医は1、2年目を合わせて40人前後でさまざまなキャラクターの仲間とともに真剣に学びかつ楽しく充実した研修をしています。ぜひ、私たちと一緒に働きませんか。みなさまのことを心よりお待ちしております。

応募手続

| | | | | |
|-------|---|---------------------------|-----|--------------|
| 応募資格 | 第117回医師国家試験(2023年2月実施)を受験する者で、マッチングシステムに参加する者 | | | |
| 必要書類 | 採用試験申込書、卒業(見込)証明書、成績証明書 | | | |
| 募集締切 | 7月から9月(マッチングスケジュールにより決定) | | | |
| 選考方法 | 筆記試験(論文、英語)、面接 | | | |
| 選考時期 | 7月から9月(マッチングスケジュールにより決定) | | | |
| 応募連絡先 | 担当課 | 総務課 人材係 | 担当者 | 大下 |
| | TEL | 054-247-6111 | FAX | 054-247-6140 |
| | E-mail | gh-kyoiku@shizuoka-pho.jp | | |